

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:平成 年 月 日

公表:平成 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス ギフト幸田

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	施設内はバリアフリー	駐車場から施設入口までに段差がある為、スロープ設置などを検討していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月の定例会議を開催し、その中で周知している	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	年1回の実施	もう少し頻度を向上し、保護者の意見をサービスに活かせる機会を設けたい
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPにて開示	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現状は社内での見直しのみになっているので、将来的には外部の有識者による改善を考えていきたい
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		従業員の意思を尊重し、研修参加を促している	従業員全体のスキル向上に向けた取り組みを積極的にしていきたい	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリング、面談にて計画作成・見直しを実施	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	個別に状況を把握し、対応はしている	標準化されたアセスメントシートの活用がないので、今後はマニュアル化していきたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		施設内全スタッフで立案	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		他事業所などの意見も取り入れている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		細かくは設定できていないと思うので、今後は改善していきたい
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		支援プランにて記載している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		開始前の徹底ができておらず、利用の中で内容などを順次見直しをおこなっている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		定期的見直し	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育記録等で記録・管理	改善スピードが遅いように感じる事案もあるので、そこは要改善
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○		支援員主導での対応がほとんどの為、積極的に施設側より提案できるようにしていきたい
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者もしくは児童発達支援管理責任者と主に該当児童の療育を担当しているスタッフで参加しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	各学校の行事や通院情報等を毎月確認しています		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現時点では受け入れはしていませんので、人員体制や施設設備を整えば、受け入れをしていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて対応している	全利用者に対して対応しているわけではないが、必要な児童に関しては対応しております
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	開設後、現時点で該当児童がいない	該当児童の発生の際には、実践していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	土曜日、祝日等で地域交流はしています	年間行事予定等で定期的な開催が出来るわけではない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	現時点ではできていない	将来的に地域とのかかわりを綿密に行って行きたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		書面、電話等で状況をヒアリングしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		心掛けて対応しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や連絡ツールにて対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	未実施	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情処理を徹底し、再発防止まで徹底している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPや広報物にて月1回は発信しています	
	35	個人情報に十分注意している	○		徹底しております	書面及び従業員からの漏洩の無い体制を維持しております
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			具体的なマニュアル化されたものは存在していませんが、配慮しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現時点では開催していないが、今後開催していきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	マニュアル整備されていますが、周知が弱い	保護者までの周知徹底はできていないように思いますので、周知徹底していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期のミーティングなどで周知	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	身体拘束は実施しません。その旨で周知しています	身体拘束の可能性のある方に関しては、利用自体の見直しをすることになっています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	家族のヒアリングによる対応のみ	医師の指示書に基づく対応を徹底して参ります
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有できています	